

春季のゼニガタアザラシ捕獲及び被害防除試験の結果について

1. ゼニガタアザラシの捕獲結果

襟裳岬西側において特に被害が著しい定置網の漁業者の協力を得て、定置網やその周辺に来遊する個体を選択的に捕獲する手法（定置網及びアザラシ捕獲用わな）を用いて捕獲を実施した。

捕獲方法	期間	結果	備考
定置網 1ヶ統（陸側の1網）	5/19-6/28 （のべ41日間） 5/19-6/1 は格子網 20cm×40cm 6/2-6/28 は格子網 25cm×25cm	11個体 成獣1（メス） うち生体0 幼獣10（オス2、 メス8） うち生体6（オス 1、メス5）	全ての個体について、個体情報の収集（生態調査）を行った。生体6個体は、日本動物園水族館協会の協力のもと、動物園・水族館に譲渡又は一時收容した。 <譲渡> 登別マリパーク1個体 新屋島水族館4個体 <一時收容> おたる水族館1個体
捕獲わな6基 （陸3、沖3）	5/30-6/24 （のべ26日間）	なし	定置網の型枠に設置。 うち2基に誘引用のタコを入れた。
捕獲わな1基	6/24-6/28 （のべ5日間）	なし	定置網に近い位置（昨年度捕獲された場所）に設置。誘引用のタコを入れた。

定置網による捕獲は、装着した格子網が20cm×40cmの期間に1個体、25cm×25cmの期間に10個体だった。水中カメラの映像から、25cm×25cmでは網に入ったアザラシが脱出に失敗する行動の割合が高まり、一定の捕獲効果があることが確認された。



また、6月2日に現地で行った漁業者と科学委員会委員との意見交換において検討することとなった固定刺し網による生体捕獲について、試験的な捕獲を6月29日に実施した。ゼニガタアザラシ5頭が網にかかったものの、網が破れたため捕獲にはいたらなかった。

2. 被害防除試験の結果

捕獲を実施した定置網の沖側の1網において、5月19日から6月29日の期間ゼニガタアザラシの定置網への入網を阻止する手法（目幅20cm×20cmの格子網を装着）による被害防除の試験を行った。なお、6月15日から6月17日までは、格子網を取り外した。格子網を装着している期間に1個体（幼獣メス）、取り外している期間に3個体（幼獣オス2、幼獣メス1）の混獲があった。試験期間を通じて、陸網（捕獲網）と比べ沖網（防除網）の漁獲量が多く、被害割合も低かった。

図1 サケ・マスの漁獲尾数及び被害尾数（漁獲尾数が多かった6月11日までを抜粋）

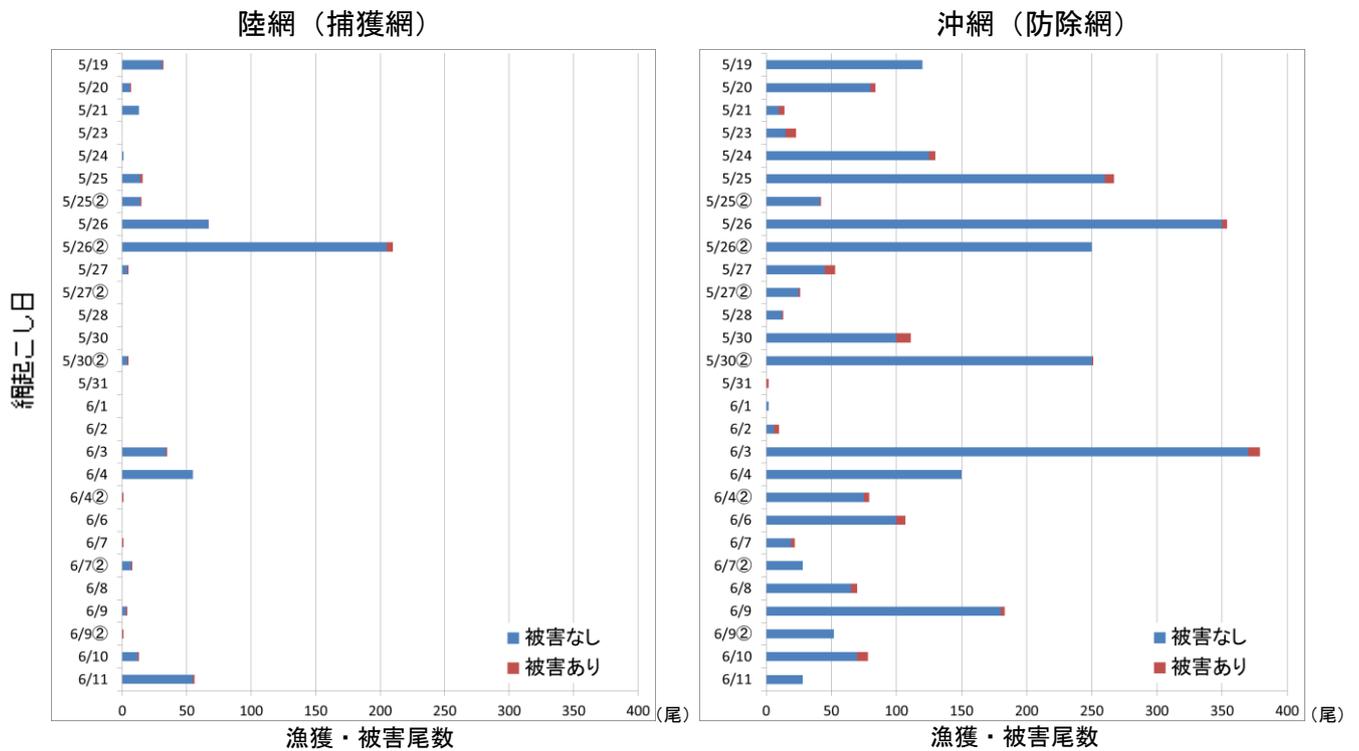
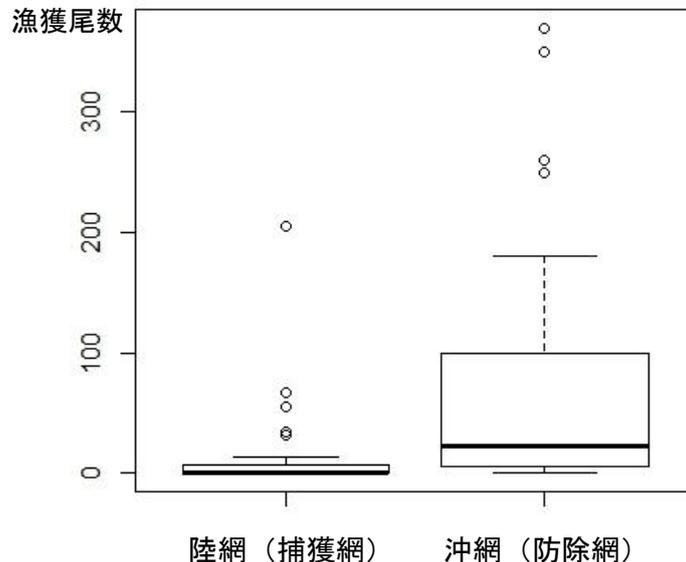


図2 試験期間中におけるサケ・マスの漁獲尾数の比較



(別紙)

捕獲及び被害防除試験における格子網及び捕獲わなの設置・装着状況

